

1 学校として目指す授業

協働的問題解決型学習を通して、基礎的な力、他者と共に考える力、他者と共生できる力、社会の中で実践する力を育成する授業

2 児童の現状

(1) 「全国学力・学習状況調査」の分析（6年生）

学力・学習状況調査の分析	生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査の分析
・国語では、全体的に全国平均を上回ったが、知識及び技能の中の「情報の扱い方に関する事項」について、全国平均を5％下回った。情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに問題がある。授業の中で、自分の考えをもつ時間を十分に確保し、ペアやグループで考えを発表したり教え合ったりする時間を設けることが課題である。	・「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているかに着目して考えているか」について、否定的な回答が17％で、全国平均を2％下回った。読解力に問題がある。分からない言葉調べる時間や音読の時間の確保、読み取ったことについて自分の考えを友達と比較検討する時間を確保することに課題がある。
・算数では、全項目で全国平均を上回った。問題別集計結果を見ると、除法の計算の問題で全国平均を3％下回り、円グラフを活用する問題で4％下回った。基本的な計算やグラフの読み取り等の力に問題がある。授業の中で学習形態を工夫し、ペアやグループで問題を解いたり教え合ったりする時間を継続的に設けることが課題である。	・「算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしているか」について、否定的な回答が45％で、全国平均を8％下回った。学習意欲、思考力に問題がある。授業の中で、自分の考えを書く活動の際に、1つだけでなく、「3つ必ず書く」など、具体的に考える数を多く示すことが課題である。

(2) 清瀬市「学びに向かう力等に関する意識調査」の分析（4～6年生）

・国語、社会、算数の学習では、「どちらかといえば得意ではない、得意ではない」と答えた児童が、国語では31％、社会では33％、算数では29％であった。国語、社会、算数の授業展開に問題がある。学習する理由に関する質問を見ると、「分かることやできることが楽しいから」という質問に対して「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と肯定的な回答をした児童が80％、「友達や先生と学習するのが楽しいから」という質問に対して肯定的な回答をした児童が86％であった。楽しく分かりやすい授業にするために、協働的問題解決型学習を展開することが課題である。
・学習の進め方に関する質問では、「どうやったろうまいくかを考えてから学習を始めるようにしている」について、否定的な回答が38％であった。また、「意見が違ったとき質問をして確かめているか」では、否定的な回答が42％、「自分が考えたことを積極的に伝えているか」では、否定的な回答が44％、「学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べる」では、否定的な回答が39％であった。学習の展開の仕方に問題がある。予想を立てること、ペアやグループなどで話し合うこと、辞書やタブレットで分からないことを調べることなどの時間を意図的に設けることが課題である。
・家庭での学習に関する質問では、「授業でこれから学習することの見通しをもつようにしている」について、否定的な回答が39％、「教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている」では、否定的な回答が37％であった。家庭学習に関する指導に問題がある。効果的な宿題の行い方を改めて指導したり、宿題として新たに自主学習を取り入れたりすることが課題である。

(3) 清瀬市「学力調査」の分析（5年生）

・国語では、「思考力・判断力・表現力」の平均正答率が49％で、市の平均を3％下回った。中でも、「文章を書く」について、平均正答率が23％であった。文章を書く力に問題がある。指定された長さで文章を書いたり、理由を明確にして書いたりするなど、条件に合わせて文章を書く力を高める指導を行うことが課題である。
・算数では、「思考力・判断力・表現力」の平均正答率が24％であった。市の平均を6％下回った。中でも、「データの活用」について、平均正答率が35％であった。式や図表、言葉を用いて説明する力に問題がある。式の意味や図表から読み取ったことなどを、ノートに記述させたり、ペアやグループで発表させることが課題である。

(3) その他の資料を活用した分析

活用した資料名及び分析結果
・東京ベーシックドリルの算数の結果から、平均正答率が60％を下回る学年が5学年中、3学年あった。 → 全学年に共通して正答率が低かった内容は、計算や図形、グラフ・表の読み取りであり、基礎的な力に問題がある。
・ペアやグループでの教え合い等の学習形態を工夫したり、タブレットを活用した練習問題を取り組ませたりすることが課題である。

3 児童の学力・学習状況等の課題

・国語、算数、社会において主体的に学習に取り組む態度を高めるために、協働的問題解決型学習を展開することが課題である。
・国語の「知識・技能」を高めるために、授業の中で、自分の考えをもつ時間を十分に確保し、ペアやグループで考えを発表したり教え合ったりする時間を設けることが課題である。また、「思考力・判断力・表現力」を高めるために、条件に合わせて自分の考えを文章で書いたり、伝えたりする時間を十分に確保することも課題である。
・算数の「知識・技能」を高めるために、授業の中で学習形態を工夫し、ペアやグループで問題を解いたり教え合ったりする時間を継続的に設けることが課題である。また、「思考力・判断力・表現力」を高めるために、式の意味や図表から読み取ったことなどを、ノートに記述させたり、ペアやグループで発表させることが課題である。また、自分の考えを1つだけ書くのではなく、「3つ必ず書く」など、具体的に考える数を多く示すことが課題である。
・予想を立てること、分からない言葉調べる、家庭学習で予習復習をするなど、学習の進め方を身に付けさせることが課題である。
・継続的に自主学習で予習復習を行わせたり、タブレットを活用した練習問題を取り組ませたりすることが課題である。

4 学校全体の授業改善の視点

①問題解決的な学習の展開 ②学習形態の工夫 ③ICTの活用を行い、

主体的・対話的・協働的な授業（「分かった・できた喜び」「学ぶ楽しさ」を実感させる）を充実させる。

【授業改善推進プランの活用法】
①「1 学校として目指す授業」を設定する。 ※学校経営方針との関連を確認すること。
②「1 学校として目指す授業」に関する各種調査の特徴的な課題を「2 児童の現状」にまとめる。
③「2 児童の現状」を基に、学校全体の課題を焦点化して、「3 児童の学力・学習状況等の課題」にまとめる。
④「3 児童の学力・学習状況等の課題」を基に、「4 学校全体の授業改善の視点」を設定する。
⑤「4 学校全体の授業改善の視点」を基に、「5 各教科における授業改善の方策」を設定する。 → 教育指導課へ提出する。
⑥12月末に実施状況を評価し、3学期以降の指導に生かす。 評価 ◎...実施した。 ○...一部実施した。 △...未実施

5 各教科における授業改善の方策

	国語	評価	社会	評価	算数	評価	理科	評価	生活・総合	評価	音楽	評価	図画工作	評価	家庭	評価	体育	評価	外国語	評価	道徳	評価
低学年	①めあてに沿った振り返りを行う。 ②自分の考えをペアで互いに発表したり、質問や感想を伝えたりする活動を意図的に設定する。 ②ペアやグループで音読をする時間を設定する。				①めあてに沿った振り返りを行う。 ①②具体物や半具体物を操作したり、図を用いたりしながらペアで問題解決の方法を話し合う時間を設定する。				①めあてに沿った振り返りを行う。 ②自分の考えをペアで発表する機会を設ける。 ③ICTを活用して、お手本を提示する。		①めあてに沿った振り返りを行う。 ②自分の思いをもち、ペアで伝え合い、曲想を感じ取る機会を設定する。		①めあてに沿った振り返りを行う。 ②タブレットで作品を描り、ペアやグループで鑑賞して感想を伝え合う機会を設定する。 ③ICTを活用して、お手本を提示する。			①めあてに沿った振り返りを行う。 ①②教員が提示しためあてに沿って、ペアで運動に取り組む場面を設定する。 ③ICTを活用して、お手本を提示する。				①ねらいに沿った発問になるようにする。また、自分の考えを書く時間を多くとる。 ②ペアで考えを伝え合う時間を設定する。		
中学年	①めあてに沿った振り返りを行う。 ②ペアで自分の考えや作文を発表し、感想やアドバイスを する時間を設定する。 ②分からない言葉を調べたり、ペアやグループ読みの音読の時間を確保したりする。		①めあてに沿った振り返りを行う。 ②ペアで調べたことを共有したり、考えたことを話し合ったりする時間を設定する。 ③ICTを活用して、資料を提示する。		①既習事項の振り返りの場 面を設け、問題解決の見通しを もたせる。 ①次につながるまとめを行 う。 ②ペアやグループで問題解決 に向け、自分の考えを話し合 う時間を設定する。		①実験する前に、結果を 予想させ、自分の意見を持 たせる。 ①めあてに沿った振り返 りを行う。 ②ペアで自分の考えを 発表する時間を設定する。 ③ICTを活用して、資料 を提示する。		①探究型の学習を展開す る。また、めあてに沿 った振り返りを行う。 ②ペアやグループで活動 を進める。 ③ICTや本を活用して調 べる。		①めあてに沿った振り返 りを行う。 ②自分の思いをもち、ペ アやグループで伝え合 い、表現の工夫や鑑賞を する機会を設定する。		①③発想や構想したこと を感じ取る鑑賞を行うと ともに、ICTを活用して 表現の変化を振り返る。 ②グループで感想を伝え 合う機会を設定する。 ③ICTを活用して、お手 本や資料を提示する。			①めあてに沿った振り返 りを行う。 ①②自身に合っためあて を設定し、そのめあてを 達成するために練習方法 を選ぶ場面をペアやグ ループで設定する。 ③ICTを活用して、お手 本を提示する。				①ねらいに沿った発問に なるようにする。また、 自分の考えを書く時間を 多くとる。 ②ペアやグループで考え を伝え合う時間を設定す る。		
高学年	①③自分の考えや作文を書 く際に、ICTを活用して条件制 御したワークシートを活用す る。 ②グループで考えや作文を 発表し、感想やアドバイスを する時間を設定する。 ②分からない言葉を調べ たり、グループ読みの音読の 時間を確保したりする。		①めあてに沿った振り返り を行う。 ②グループで調べたことを 共有したり、考えたことを 話し合ったりする時間を 設定する。 ②ペアやグループで図表の 縦軸、横軸の数値や単位な どを確認し、読み取りしや すいようにする。 ③ICTを活用して、資料を 提示したり新聞を作らせ たりする。		①大切な見方、考え方は何 だったのか振り返る。 ②ペアやグループで問題解 決の見通しや方法について 話し合う時間を設定する。 ③デジタル教科書を活用し 、シミュレーションなどを行 う。		①めあてに沿った振り返 りを行う。 ②実験結果から分かるこ とを文章で書かせ、それ をペアやグループで発表 させる場面を設定する。 ③ICTを活用して、資料 を提示する。		①探究型の学習を展開す る。また、めあてに沿 った振り返りを行う。 ②課題に応じてグルー ピングし、活動を進める。 ③ICTを活用して調べ たり、発表したりする。		①③ICTを活用して、め あてに沿った振り返り を行う。 ②自分の考えをペアやグ ループで共有し、曲にふ さわしい表現の工夫や曲 の良さを鑑賞する機会を 設定する。		①③発想や構想したことを 感じ取る鑑賞を行うこと で主題を考えるとともに、 ICTを活用して表現の意 図や変化を振り返る。 ②グループで感想を伝え 合う機会を設定する。 ③ICTを活用して、お手 本や資料を提示する。		①めあてに沿った振り返 りを行う。 ②グループで、考えたこ とや調べたことを話し合 う時間を設定する。 ③ICTを活用して、お手 本や資料を提示する。		①めあてに沿った振り返 りを行う。 ①②自身やチームに合 っためあてを設定し、そ のめあてを達成するた めに、グループで練習を 考える時間を設定する。 ③ICTを活用して、お手 本を提示する。		①めあてに沿った振り返 りを行う。 ②ペアやグループで発表 やアクティビティを行 う。 ③タブレットを活用し て、伝えたいことを視 覚化する。		①ねらいに沿った発問に なるようにする。 ①②③学級の様々な友 達に考えを聞き回ったり、 ICTを活用したりして、 他者の考えの良い点や考 えが深まったことを書 く。	